

学校経営・運営ビジョンの「学校経営の方針」に込めた思い

令和3年4月8日（木）始業式生徒配付資料（昨年の入学式校長式辞より抜粋）

君たちとともに過ごす光南高校の、学校経営方針は次の3点です。

一つ、多様な個性がコラボレーションする学校

一つ、社会の中で生き抜く力を育む学校、

一つ、安心して学び続けることのできる学校 です。これらに込めた、君たちへの思いを伝えます。

まず、個性のコラボレーションについてです。君たちには、高校生活の中で、仲間と切磋琢磨しながら個性を磨き、自分の強みを見出してもらいたい。その上で、自分と異なる個性を否定するのではなく、互いに認め合い、一緒に活動し、コラボレーションすることで、新たな価値を生み出してほしいと思っています。他人の良さに気付かずに、自己主張するだけでは、独りよがりの単なる我が儘となり、個性の融和は図れません。

中国の思想家 孔子の言葉を集めた論語の中に、「人の己を知らざるを憂うべからず、己の人を知らざるを憂うべし」という言葉があります。周囲が自分を理解してくれないことを悲しむよりも、自分が他人を理解できないことを悲しむべきだという意味です。

人の個性は様々です。元気良く外見上に現れるものもあれば、熱い思いを内に秘めた個性もあります。自己中心的な考えから一歩引いて、他者を理解することにより、自分の個性の発揮の仕方が分かり、個性をより輝かせることができるのです。

次に、社会の中で生き抜く力についてです。社会には、たくさんの課題が溢れています。世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症や一昨年10月に発生した台風19号に伴う豪雨災害などは、この地域でも極めて深刻な課題となっています。

しかし、このような社会の中で生き抜く術を、私たちは、10年前に発生した東日本大震災という、史上類のない複合災害を乗り越えてきた経験から学びました。

そこで君たちには、まず、高校生活の中で自分の良さに気付き、自分に自信を持ち、自分を愛し、大切にしてもらいたい。そして、生涯に渡り生き抜くことのできる普遍的な力、自分なりの生きる術、自分の強み、自分の武器を見出してほしいと思っています。

その上で、一人一人が課題に向き合い、周囲との絆を作りながら、自分の果たすべき役割を認識し、自分の強みを生かして主体的に行動してもらいたい。「与えられる人から与える人」に変わってほしいと願っています。

次に、安心して学べる環境づくりについてです。まず、私たち教職員は、君たちが安全に、安心して学ぶことができる学校づくりに全力で取り組んでいく覚悟です。その上で君たちは、毎日を過ごすこの学校を、誰もが居心地の良い空間としてください。互いの個性を認め合い、自分の個性に磨きをかける学舎には、いじめや暴力などは存在するはずもありません。

しかし、差別やマナーを破ることはいけないこととする暗黙の了解、男女共生社会において適切な表現とは言いにくいのですが、いわゆる紳士協定があるにも関わらず、世の中には、未だに性別や肌の色の違い、病気や障がいなどによる差別や偏見が残っています。

「Boys be ambitious（少年よ大志を抱け）」という名言を世に残したクラーク博士は、北海道大学の前身、札幌農学校を開校するに当たり、学生たちに規則や社会の暗黙のルールを守り、立派な社会人になってほしいという願いを込めて、校則を定めました。その校則は「Be gentleman（紳士たれ）」の一言です。

光南高校には様々なルールや決まりがあり、社会には守るべきマナーや暗黙の了解があります。原発事故の風評被害に苦しんだ福島県民だからこそ、君たちには決まりはもとより、差別や偏見をもたないという暗黙の了解、紳士協定を守ってもらいたい。

成年年齢の引き下げにより、来年の4月1日以降、君たちは18歳の誕生日を迎えると成人し、大人として進路を自分で決めたり、様々な契約を結ぶことができるようになります。是非、光南高校において、日々の学びを通して人間性を高め、一人前の立派な大人になってください。